



ASAHIYAMAZONNEWS

モエワカレイ

☆目次

- 2.3 特集「フクロウ」
- 4.7 ベットの冬越し
- 5. ゲンちゃんの追求
コーナー
- 6. ポスト&クイズ
- 8. アメリカの動物園
(その3)
- 獣医室から
- 9. 飼育レポート
「オセロットの赤ちゃん」
- 10. 飼育日誌ほか



1990
OCT.

NO. 22

☆キンメフクロウ *Aegolius funereus*

・今年の春、ちょっと見かけないフクロウのヒナが保護されてきた。「アオバズク」かなと思っていたら、なんと「キンメフクロウ」だった。北海道の大雪山の森の中でキンメフクロウは繁殖していたのだ。



今年の特集シリーズは『鳥』です

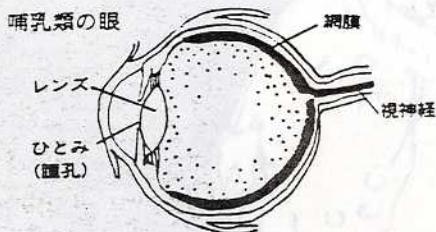
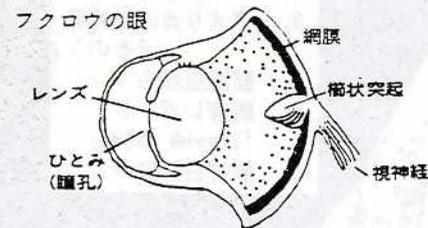
第3回めは、

夜の狩人=『フクロウ』

鳥の仲間では夜活動する鳥は3%にすぎません。その中の半数以上がフクロウで占められています。フクロウは昼間、狩をするワシ、タカの仲間と相当する夜の猛禽です。夜、暗闇の中で彼等はどのようにして獲物を捕るのでしょうか。

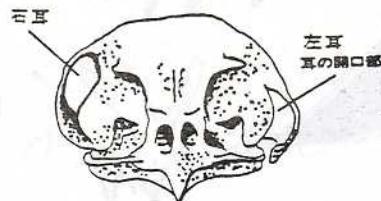
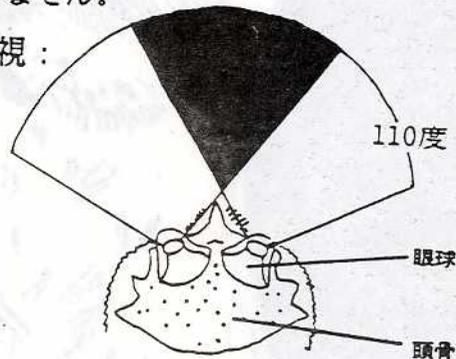
目

ハトの眼に比べて100倍の集光能力を持ちます。



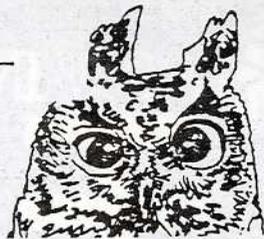
獲物を正確に捕らえるために、眼は顔の正面に位置しています。そのため獲物との正確な距離を計ることができます。しかしその半面眼をほとんど動かすことができないため視野が狭く、ヒトで180度、ハトで340度の視野を持っていますがフクロウでは110度しかありません。

立体視:



耳

フクロウが暗闇でもネズミなどの獲物を捕れるのは、実はよく聞こえる耳があるからです。左右の耳は音の源をつきとめやすいように左右非対称についており、羽毛におおわれて見えませんがその開口部はとて大きく開いております。



北海道はフクロウ王国

フクロウの仲間はほとんど全世界に分布しております。日本では11種のフクロウが記録されていますが、うち北海道では一番大きなシマフクロウから一番小さいコノハズクまで10種が記録されています。



- 1. ♣ シロフクロウ 全長 約60cm
 - 2. ♣ ワシミズク 全長 約66cm
 - 3. ♣ シマフクロウ 全長 約71cm
 - 4. ♣ トラフズク 全長 約38cm
 - 5. ♣ コミズク 全長 約38cm
 - 6. ♣ エゾフクロウ 全長 約50cm
 - 7. ♣ コノハズク 全長 約20cm
 - 8. ♣ オオコノハズク 全長 約24cm
 - 9. ♣ アオバズク 全長 約29cm
 - 10. ♣ キンメフクロウ 全長 約25cm
- ♣: 旭山動物園で現在飼育中のもの
♥: 旭山動物園で繁殖したもの



▼3羽のヒナを育てるシロフクロウの夫婦

旭山動物園では現在8種42点のフクロウ類を飼育していますが、これらはみな旭川近郊で保護されたものばかりです。特に日本産のワシミズクとキンメフクロウは日本ではここだけで飼育されています。

将来はシマフクロウ、コミズクを加え、日本のフクロウ全種の飼育・繁殖研究、そして、野外調査など、総合的な「フクロウ研究所」をめざしています。

『フクロウ』と『ミミズク』

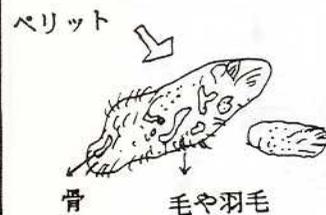


フクロウの仲間は「〇〇フクロウ」とか「**ミミズク」とか呼ばれています。一般的に耳羽（耳のように見える飾り羽）のない種類をフクロウ、ある種類をミミズクと呼んでいるようですが、両者とも同じ仲間であるため厳密な区別はありません。

例えば、アオバズクには耳羽がありませんし、シマフクロウには立派な耳羽があります。

口から「ペロット」出てきたよ

フクロウの仲間は捕らえた獲物を丸呑みにしてしまいます。そして毛や羽毛、骨、キチン質などの消化しないものは一かたまりにして口から吐き出してしまう。これを『ペリット』といいます。ペリットを調べるとフクロウがどんな物を食べたのかが分かります。



消化したものはフンとして出す

冬がくるまえに ちょっと まって...



ペットの冬越し



10月もそろそろ終り、秋というより、もう冬ですね。この頃になると「うちのカメ、動きが悪くなって、エサも食べないんです。」とか、「アヒルを庭で飼っているんですけど、冬はどうすればいいですか。」といった質問が、よせられるようになります。

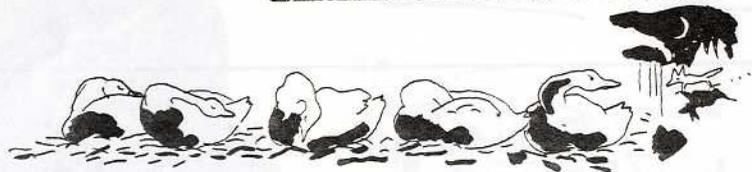
かわいいペットが、無事、春をむかえられる様に、今日はペットの冬越しについて特集します。

アヒル

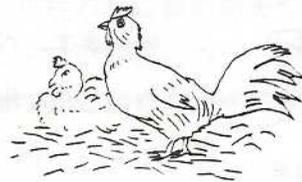
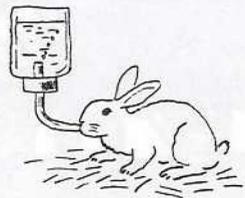
庭でアヒルを飼っている人も多いでしょう。冬だからといって、家の中でも飼えないし、どうすればいいのでしょうか？



- ・日当たりのいい場所をえらびましょう。
- ・風や雪を防げる様に、小屋を作ってあげましょう。中にワラや枯れ草をひき、汚れたり、しめったりしたら取りかえましょう。
- ・エサはハトエやパンなど、こおりにくいものを多くしましょう。
- ・水はエサを食べるときに必ず必要です。エサを与える時、一緒にあげましょう。
- ・水あび用の水は冬場はやらない方がいいでしょう。



家の中で飼いにくいものに、アヒルの外、ニワトリやウサギ等がいます。これらは、外でも、物置小屋の様に、風と雪が防げれば、暖房をしなくても、飼うことができます。ただし、小屋の中にワラや乾草をたくさん入れてペットの体が、ぬれたり、汚れたり、しないようにしなければなりません。



ポスト コーナー

わたしはいつも旭山動物園に行ったら動物たちとあいさつをします。人間どうしの様に「おはよう」「こんにちは」と言葉であいさつすることはできないけれど言葉じゃなく、あいさつはできる。動物たちだ、わがやってくれると思います。鳥たちには小さな声で話したり、鳥の声をまねしたりしてあいさつをしています。マサラシカ ひょうたんプールから顔を出せば、はなのあなのひらきあ、こして「こんにちは元気かい」とあいさつです。たまには「守たきたか」という感じの動物だ、ているけどあいさつをするのはおたかい気持ちがいいと思います。わたしはこんなことをやっても動物たちには何も、わからないと思います。でも気持ちはわがやってくれると思います。みんな地球に住んでいて、みんな生きていく仲間だからです。動物園にきたら、いつもこれを感じます。「みんな、色形ちがうけれど、気持ちや考えることは、同じじゃないかなあ」

★ ライトのうらちんからのあへんじ ★

こんにちは、お手紙もありがとうございます。私は亜衣ちゃんの手紙を読んでとてもうれしかったです。ほんとにうれしいなあ。ときどきね、お昼寝していると、大声で私たちを起したり、石をぶつけたりする人たちがいるの。私もだんなは羊のベルさんも、とてもさみしくあってしまうの。亜衣ちゃんも私たちライオンも同じ地球の仲間だものね。亜衣ちゃんみたいに、あいさつしてくれる人が増えたら、もっとも、とうれしくなるわ。亜衣ちゃんも、また、動物園のみんなに元気な顔を見せて来てね。みんなと一緒に楽しみを待っているわ。

うら

旭山動物園 6条3丁目
中村 亜衣ちゃんからのあへんじ

モユク・カムイを読んで気のついたことや、動物園にきて感じたことなど、どんなことでもいいから旭山動物園・モユクカムイ係あてに送ってね。次号は誰がお返事を書くか、ないしよけどみんなのお便りを待っています。

クイズ コーナー

Q. Yes, No クイズです。あなたはそのことについてどう思いますか？

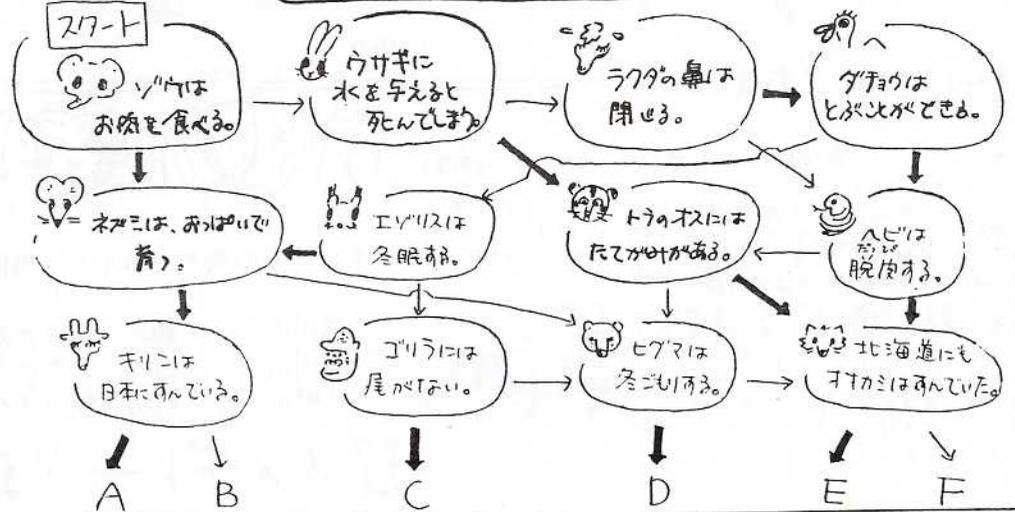
← Yes
← No



正解者の中から抽選で3名様に旭山動物園特製「エゾシカの角キーホルダー」が当たります。

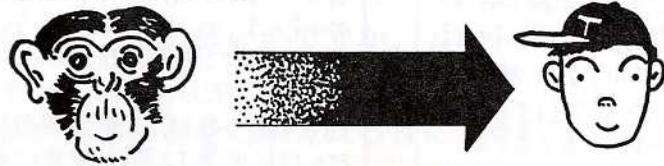
応募方法

はがきに「答えと住所、氏名、年令、電話番号」を書いて旭山動物園モユク・カムイ クイズ係までお送りください。



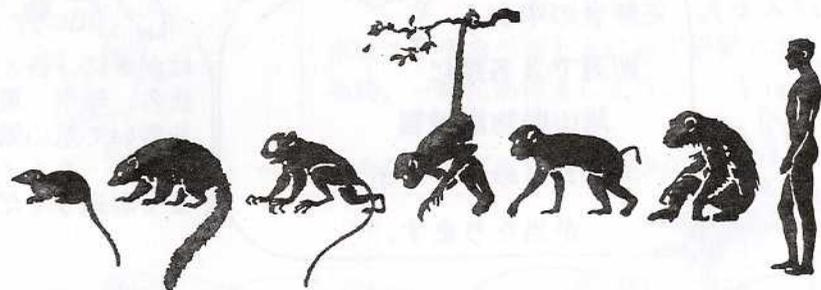


Q: ヒトはサルから進化したのですか? では、チンパンジーは今から100万年くらいするとヒトになるのですか? 谷 るみ子(19才) 旭川市 緑ヶ丘



A: 霊長類の進化という、現存するサルの仲間をモデルにして、ツバイ→原猿(メガネザル、キツネザル)→サル(ニホンザルなど)→類人猿(チンパンジー、ゴリラ)→直立猿人(アウストラロピテクス)→ヒトと、これらの絵を左から順に並べて、下等なものから高等なものに、四本足歩行から二本足歩行へと、進化したと説明します。しかし、これはあくまでメガネザル、チンパンジーの様な形態をもったサル類ということで、現在のキツネザルがチンパンジーに、チンパンジーがヒトに進化したということではありません。なぜなら、これらメガネザルやチンパンジー、ヒトも同じだけの年月をかけて進化し、現在にいたっているのですから。

ヒトとチンパンジーには共通の祖先がいて、この祖先が、ニホンザルと共通の祖先をもっていたということです。ただ、もしヒトだけが他の生物を道連れにしないで絶滅したとしたら、チンパンジーやゴリラの中から別の種が派生して進化し、ヒトのような高度な生物が生れる可能性はあります。



前号(No.21)のこたえ

正解 ウォンバット 有袋類(カンガルー、コアラの仲間)

ト	ラ	アカゲザル	霊長目	マカク族
アオダイショウ	ヤマアラシ	げっ歯目	ウツクシ目	ネコ科
ゴリ	ライオン	食肉目	ワシタカ目	両生類
オオワシ	チゴハヤブサ	両生類	ガンカモ目	食肉目
オオカミ	カルガモ	食肉目	イヌ科	霊長目
ウォンバット	エゾタヌキ	霊長目	類人猿	両生類
キリン	テナガザル	両生類	ハ虫類	
カピバラ	ラクダ			
コハクチョウ	イシガメ			
サンショウウオ				
ニホンザル				



● エゾシカの角キーホルダー当選者

旭川市 鈴木 康之さん
滝川市 古村 恵さん
札幌市 打田 敦彦さん

オメデトー!!

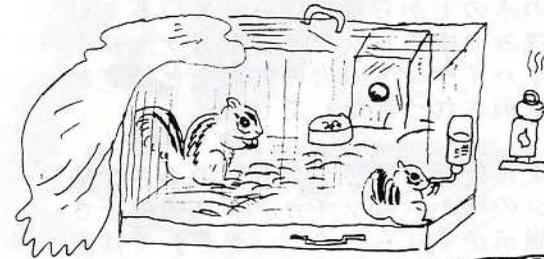
近ごろ巣箱に入ったまま、あまり出てこないのですが?

シマリス

・シマリスは野生状態ならば、冬は冬眠をします。飼育している場合は、冬眠させない方が安全ですが、冬眠させることもできます。

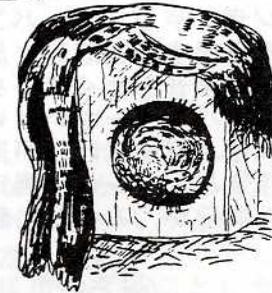
[冬眠させない飼い方]

暖房のきいた部屋の中で飼います。夜冷えないようにカゴに毛布などを掛けて冷えないようにします。



[冬眠させる飼い方]

秋になる頃、家の中で、あまり暖房のきかない場所にカゴを移します。カゴの中にワラや新聞紙など、巣材になるものをたくさん入れておきます。ヒマワリなどの木の実をたくさん与えます。リスは巣材やエサを巣箱の中にはこび込み、あまり姿を見せなくなります。冬眠に入ると、リスは全く姿を見せなくなります。巣箱をのぞくと、まるで死んだように丸くなっています。春になり、暖かくなると、巣箱から出てきます。



この頃、食欲もないし、あまり動かないんですが?

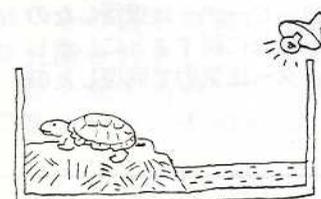
カメ

・カメは気温と水温が下がってくると、動きがにぶくなります。(変温動物のため) 冬越しさせるには、次の方法があります。

[冬眠させない場合]

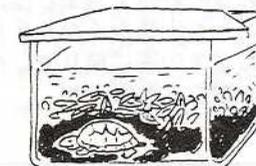
温度を20°C~30°Cの範囲に保ちエサを与えます。

天気の良い日は、できるだけ日光浴をさせましょう。



[冬眠させる場合]

十分にエサを与えます。エサを食べなくなったら、カメの甲らの厚さの1.5倍くらいの水を入れ、落ち葉をたくさん入れます。全く頭を出さなくなったら、水を30cmの深さに入れ、静かな寒いところ(-5°C~5°C)に置き、春まで待ちます。北海道では屋外で冬眠させることは危険ですので、室内に入れて冬眠させます。





● ニューヨーク・ブロンクス動物園

アメリカを代表する動物園の一つで、100haの広い園内は解説員のついたツーカーとモノレール(アジアゾーン)でまわります。

動物たちは広くゆったりとした緑に囲まれて、のびのびとしていたのが印象的でした。特にこれまでのバイオーム展示技術の集大成と世界の注目を集めた熱帯鳥類館とジャングルワールドは、精巧な擬岩、擬木、つた、豊富な緑、滝や清流、スコールなど、美しいネームプレートのはめ込まれた通路の手すりがないければ、まさに東南アジアの熱帯雨林そのものでした。そんな中での動物たちとの出会いは、まさに圧巻で感動的でした。すぐ目の前の木の上から目を光らせているクロヒョウ、マングローブのテングザルの群れ、茂みの中のバクやオオトカゲ、頭上の木のうろにひそむニシキヘビなど、ヒマラヤハイランドの岩の斜面をとびまわるユキヒョウと共に実に生き生きとしており圧倒されっぱなしでした。

● ニューヨーク・セントラルパーク動物園

1988年バイオーム展示を取り入れ新しく生まれ変わった2.2haの小さな動物園です。「極地帯」ではペンギン、アザラシのほか、ホッキョクグマの姿をさまざまな角度から目の前にみることができ展示がすばらしく、「温帯」では高層ビル街をバックに立木に登るニホンザルやレッサーパンダが、「熱帯」では鳥がおもにジャングルの地表部から、樹冠部まで生態的に展示され、地上部で列になって葉を運ぶハキリアリや薄暗い洞窟を音もなく飛び交うコウモリの群れが実に印象的でした。ゾウもライオンもチンパンジーもない小さな動物園ですが、動物たちのデラコルテ時計やブロンズ像、石像、れんが造りの古い外観を生かした落ちついた、歴史を感じさせる雰囲気と、何をどう展示するのかという意志と最新の科学と技術を集めたバイオーム展示が、みごとに調和して、観た後に不思議な充足感を覚えました。



獣医室から
ピーター-奇跡の復活



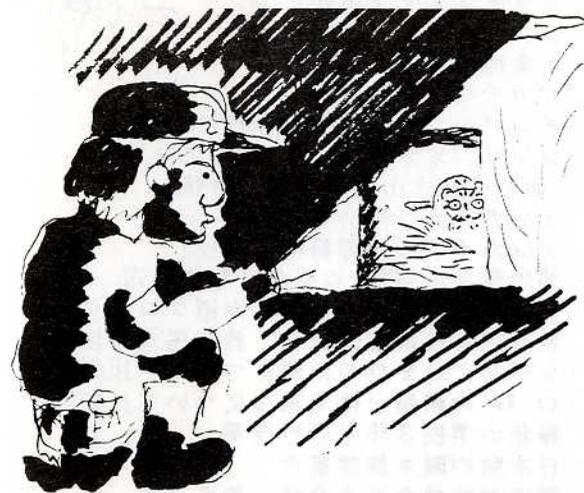
タイワンザルのボス、ピーターは今年24才になりました。野生では15才くらいが寿命ですから随分と長生きをしています。このピーターが今年の7月18日腰が立たなくなりました。お尻のまわりにウジがわき、私がさわっても抵抗すら出来ない状態でした。ピーターは長年ボスの座をつとめて気位も高く、人にさわられることは最大の屈辱なはずなのにこの状態ですから、ついに来る時がきたのか、と思いました。後何日もつのかな、という思いで治療をし、エサを口にはこんでやりました。ところが15日目にヨタヨタしながらも腰が立つようになりました。体の自由がかなりきくようになってからも、私がさわっても怒らないし、エサも口に入れてくれとせがむし、顔付きもデレーとして締まりのない顔付きになりました。オリの中では狭いのでリハビリをかねて部屋の中に出して遊ばせたりしました。8月23日、いつもの様に部屋の中で遊ばせてオリの中に入れようと、体をたたいたらシッポを立てて怒りの表情で私ににじり寄ってきました。この日、ピーターは復活したのです。さすがに動きは鈍いのですが、さわること出来なくなり8月26日群れに戻すことにしました。シッポをピンと立てて何事もなかった様にボスの座に戻りました。ピーターは気力で回復したのです。何事もあきらめてはいけないうのだと思知らされました。



飼育研究レポート

旭山700
の
かけあひ記

オセロットの赤ちゃん



オセロットは南アメリカにすんでいるネコ科の動物です。毛皮が美しいために乱獲され、絶滅が心配されている希少動物です。日本では5つの動物園で13頭しか飼育されていません。旭山動物園のオセロットはオス(アイ)を上野動物園から、メス(ラブ)を千葉市動物園から繁殖のために借り受けています。

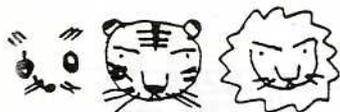
オセロットはライオンやトラと違い人前では交尾をしません。物陰に隠れて何とか確認しようとしたのですが、

ついに観察はできませんでした。特にラブは神経質で、私を見つけるといつも隠れてしまい、妊娠の確認もなかなかできませんでした。

6月26日、ラブのおなかをじっくりと観ることができました。おなかは以前より大きく、乳首はずっと大きくなっていました。最後に発情のあった日から数えると、あと10日もすれば出産することになります。急いで産室をつくり、アイとラブは別々の部屋で暮らすようにしました。野生動物のお産に人間が手を貸してやることはできないので、全てをラブに任せるしかないので。生まれたら赤ちゃんの鳴き声で解るだろうと、毎日楽しみにしていました。

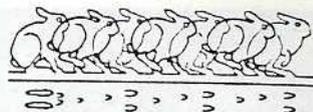
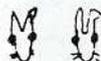
7月2日朝、ラブは昨日のエサにまったく手をつけていませんでした。生まれたのかもしれない、と必死に鳴き声を聞こうとがんばりましたが、まったく聞こえませんでした。10日たち、20日たち、1ヶ月が過ぎても何も聞こえません。産室はのぞいても見れないように作ってあるため、毎日が期待とあきらめの入り交じった複雑な心境でした。1ヶ月半がたち、もうだめだと諦めラブを別の部屋に移し、懐中電灯をつけ産室に入り中の巣箱を開けると、丸まると太った赤ちゃんが1頭まぶしように、何事があったのというような顔をして私を見つめていました。生まれたときは黒い産毛が生えているのに、もうすっかりおとなの毛色に変わってしまっていました。あわてて引き返し、すぐにラブを産室に戻しました。その間、数分だと思のですが、赤ちゃんはまったく鳴き声を出しませんでした。

ラブが外へ連れてくる前に私がのぞいてしまったので、ずいぶん心配しましたが、その後も順調に経過し、9月13日にはお母さんと一緒に運動場へ出て、一般公開されました。今はもう4ヶ月がすぎ、元気にお母さんと遊んでいるかわい姿を見てもらっています。そして私は一度だけ赤ちゃんの鳴き声を聞くことができました。その声は「ニャオ」、イエネコと同じような声でした。(高橋)



飼育日誌

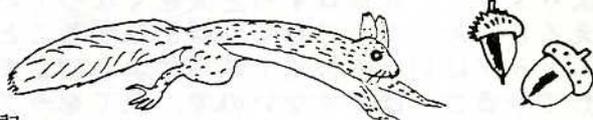
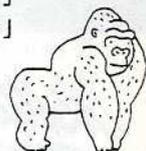
《平成2.7.16、10.10》



- 7.18 タイワンザル(ヒーター)入院
- 7.27 神居中学校1年・飼育実習
- 7.28 サマースクール開校～30
夜の動物園～29
- 8.1 チンパンジー風邪～6
- 8.4 夜の動物園～5
- 8.5 サル舎ネズミ退治
親子動物教室1
HBC「夜の動物園」取材
- 8.7 春光台公民館・飼育実習
- 8.9 zooガイド「神居東小PTA」
- 8.10 zooガイド「こどもサークル」
- 8.13 夜の動物園～16・アンジュ
親子動物教室2
zooガイド「滝川シレニア会」
- 8.19 親子動物教室3
ワピチ(若)除角
- 8.20 パネル展「90サマースクール展」
- 8.23 ワピチ(親)除角
- 8.24 zooガイド「占冠村保育所」
- 8.26 タイワンザル(ヒーター)退院
- 8.27 zooガイド「中富良野保育所」
- 9.2 ケアシノスリ、ハイタカ
「つめ・くちばし」短切
- 9.3 大雨、水禽池あふれる
- 9.4 スズメバチ退治
- 9.5 仙台市八木山動物公園より
シジウカラガン3羽受贈
- 9.6 オセロット仔確認(7.1生まれ)
- 9.7 zooガイド「名寄幼稚園」
zooガイド「啓北中学1年」



- 9.9 第3回動物仮装マラソン大会
- 9.10 旭川医大生物学実習～11
- 9.13 第153回旭山動物園飼育研究会
「動物園の教育活動について」阿部
zooガイド「末広第2保育園」
- 9.19 パネル展「ペットの飼い方展」
ホッキョクギツネ死亡
- 9.22 シンリンオオカミ隔離検査
- 9.24 水禽池に野生ミンク出沒
マガモなどの被害甚大
- 9.25 チンパンジー「リキ」群れに入る
- 9.26 シンリンオオカミ(4.24生まれ)
仙台市八木山動物公園へ寄贈
- 9.27 zooガイド「愛別幼稚園」
- 9.30 zooガイド「西御料地小学校」
- 10.2 旭川第7小学校 じゃがいも贈呈式
- 10.3 日本動物園水族館協会北海道ブロック
秋期飼育技術者研究会 於広尾水族館～4
「シベリアヒヨウの出産について」辻栄
「ツメキの繁殖と体重減少について」坂野
緑新小学校3年生理科授業
- 10.4 日本動物園水族館協会
種保存委員会拡大会議 於名古屋 5
「ホッキョクグマの繁殖計画」小菅
旭川第2小学校 動物のえさプレゼント
- 10.6 カリガネ、ミンクに襲われ死亡
- 10.8 zooガイド「鉄道弘済会保育園」



編集後記

早いもので、もう閉園の日を迎えてしまいました。今年旭川市開基100年を迎え、旭川市を舞台にいろいろな催し物が行なわれました。動物園でも生きた昆虫の世界を紹介する昆虫展を開催しましたが多くの入園者のみなさまに喜んでいただきました。

足早にくる秋に驚かされて、動物たちも頭と体の切り替えを急がされています。長い閉園期間ですがまた何回か冬の動物観察会を計画していますので、ぜひご参加ください。

モユクカムイや動物園についてご意見などございましたら、どんどんお手紙をください。また、動物に関する質問はいつでも受け付けておりますので、お気軽にお便りください。お待ちしております。



飼育動物数

(10月1日現在)

哺乳類	42種	225点
鳥類	85種	449点
爬虫類	5種	36点
合計	132種	710点



モユク・カムイ

No.22 平成2年10月20日

発行所 旭川市旭山動物園 078 旭川市東旭川町倉沼 0166-36-1104
 発行人 菅野 浩 編集委員 小菅正夫 阿部 寛 坂東 元